高知県感染症発生動向調査（週報）
2011年第38週〔9月19日～9月25日〕

高知県衛生研究所　高知県感染症情報センター
TEL:088-821-4961　FAX:088-825-2869
http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/
E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

高知県における手足口病について

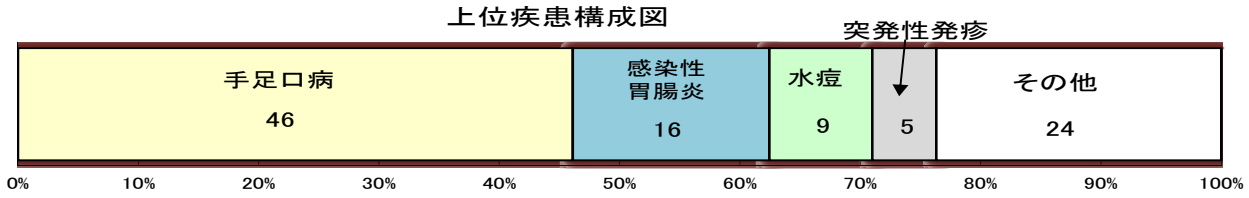
本年1月から6月頃にかけてコックサッキーウイルスA6型を原因とする手足口病やヘルパンギーナが流行していたが，7月に入ってからこれ以外にもコックサッキーウイルスA16型やエコーウイルス6型など別の血清型も検出されている．一度手足口病に罹患しても再度感染発病することがあるので注意が必要である．

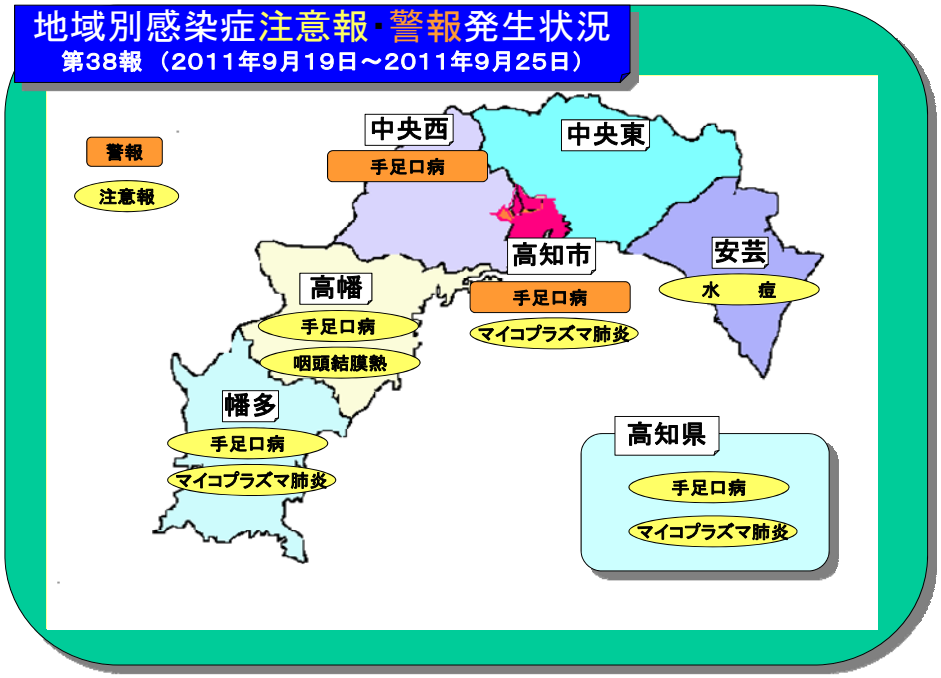
県内情報

○　患者情報総評

注意報発令疾患：手足口病，マイコプラズマ肺炎

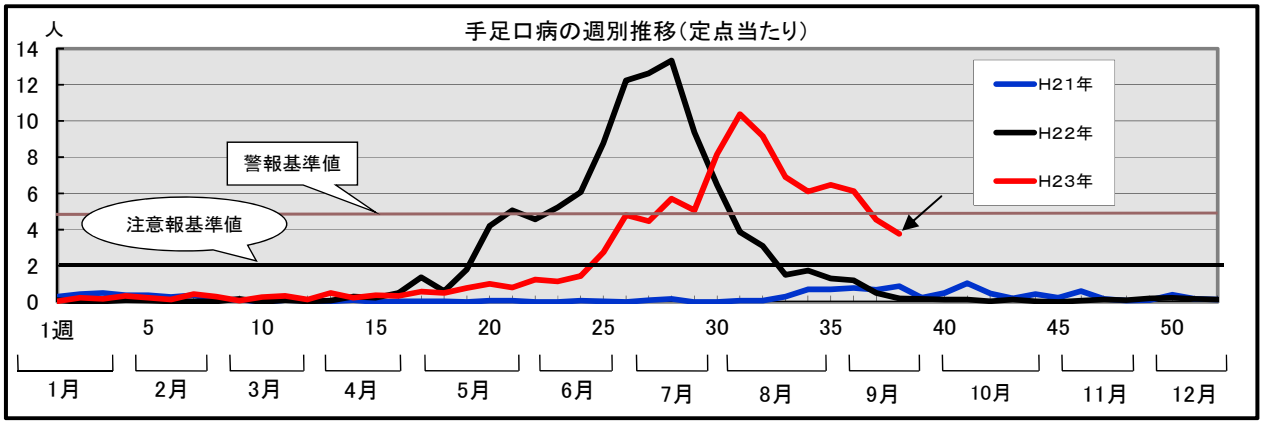
- 週の後半は平均気温が下がり，日中でも過ごしやすく，朝晩は肌寒く感じられた．
- **手足口病（高知市：警報→警報，中央西：警報→警報，幡多：注意報→注意報，高幡：警報→注意報）**は幡多と安芸を除く地域で減少し，総数は引き続き減少した．
- **咽頭結膜熱（高幡：注意報→注意報）**はさらに減少したが，高幡では引き続き注意報値を超している．
- **感染性胃腸炎**は例年同様低いレベルで推移しているが，11月頃から報告数が目立ち始めるので，流行前から手洗いなどの予防を心がけてほしい．
- **ヘルパンギーナ**は第34週以降横ばいの報告で推移していたが，今週は前週の半数となった．今後は終息に向かって減少していくと思われる．
- **マイコプラズマ肺炎（幡多：警報→注意報，高知市：注意報→注意報）**は総数は減少したが，引き続き注意報値を超している．搬入された検体から*Mycoplasma pneumonia* 4件が検出されている．





手足口病：今週 3.77　（注意報値：2.00　警報値：5.00）

幡多で増加し安芸では横ばいであったが，その他の地域で減少し，総数はさらに減少した．高幡では警報値を下回ったが，高知市と中央西では引き続き警報値を超しており，幡多と高幡では注意報値を超している．



水痘：今週 0.70　（注意報値：2.00　警報値：4.00）

安芸，中央東，中央西で増加し，総数も増加した．安芸では注意報値を超した．例年10月中頃から増加傾向となっており，今後の推移が注目される．

検査情報

受付週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
38	マイコプラズマ肺炎	9歳 女	高知市	*Mycoplasma pneumoniae*
38	マイコプラズマ感染症	8歳 女	中央東	*Mycoplasma pneumoniae*
38	マイコプラズマ肺炎	1歳 女	高幡	*Mycoplasma pneumoniae*
38	マイコプラズマ肺炎	12歳 男	高幡	*Mycoplasma pneumoniae*

前週以前に搬入され検出された病原体

受付週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況	備考
30	手足口病	1歳 女	中央東	Coxsackievirus A6	
31	扁桃炎	1歳 男	中央東	Coxsackievirus B3	重複（Parechovirus NT：33週）
31	手足口病	3歳 男	高知市	Coxsackievirus A6	
31	手足口病	2歳 男	高幡	Coxsackievirus A6	
31	手足口病	1歳 男	高幡	Coxsackievirus A6	
32	ヘルパンギーナ	15歳 男	高知市	Herpes simplex virus 1	
32	無菌性髄膜炎	3歳 女	高知市	Echovirus 6	）違検体同一人
32	無菌性髄膜炎	3歳 女	高知市	Echovirus 6	
32	手足口病	2歳 女	高知市	Coxsackievirus A16	
32	手足口病	1歳 男	高幡	Coxsackievirus A16	
32	手足口病	6歳 男	高知市	Coxsackievirus B4	

○　**全数報告の感染症情報**

2類感染症：結核　5例（60，70代女）《高知市》（80代女）《幡多》（40代男）《中央東》
（今年135例）

○　**定点からの地域ホット情報**

幡多：
《さたけ小児科》：膿痂疹　2例（5歳女，3歳男）　ヘルペス性歯肉口内炎　2例（2，5歳男）
《渭南病院小児科》：アデノウイルス咽頭炎　1例（1歳女）　ヘルペス性歯肉口内炎　2例（2歳女）

高幡：
《もりはた小児科》：アデノウイルスによる滲出性扁桃炎　1例（2歳男）

中央西：
《くぼたこどもクリニック》：口唇ヘルペス　1例（9歳女）

高知市：
《三愛病院小児科》：帯状疱疹　1例（7歳男）　ヘルペス性歯肉口内炎　1例（1歳男）
《けら小児科・アレルギー科》：マイコプラズマ肺炎　3例（4，8歳女，5歳男）　帯状疱疹　2例（10，12歳女）
アデノウイルス陽性　1例（2歳女）

中央東：
《あけぼの小児クリニック》：マイコプラズマ肺炎　1例（6歳男）

全国情報第36週（8/29～9/4）（ http://idsc.nih.go.jp/index-j.html ）

2類感染症：結核407例
3類感染症：細菌性赤痢14例、腸管出血性大腸菌感染症126例（有症者76例、うちHUS 1例）
4類感染症：A型肝炎1例、つつが虫病1例、デング熱2例、日本紅斑熱4例、日本脳炎1例、レジオネラ症14例、レプトスピラ症2例
5類感染症：アメーバ赤痢13例、ウイルス性肝炎（B型）2例、急性脳炎1例、クロイツフェルト・ヤコブ病4例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、後天性免疫不全症候群7例（AIDS 2例、無症候5例）、ジアルジア症1例、梅毒13例、破傷風1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、麻しん2例
報告遅れ：デング熱2例、日本紅斑熱2例、急性脳炎1例

◆手足口病

手足口病（hand, foot, and mouth disease：HFMD）は、口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス性感染症であり、乳幼児を中心に主に夏季に流行する疾患である。基本的には数日間の内に治癒する予後良好の疾患であるとされている。しかし稀ではあるが、髄膜炎、小脳失調症、脳炎などの中枢神経系の合併症などのほか、心筋炎、急性弛緩性麻痺などの多彩な臨床症状を呈することが以前より知られている。

手足口病の感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染であり、保育園や幼稚園などの乳幼児の集団生活施設においての感染予防は手洗いの励行と排泄物の適正な処理が基本となる。手足口病の病原ウイルスに感染しても全員が典型的な症状を呈するものではなく、不顕性感染例も存在することから、発症して診断された者を隔離しても効果的な対策とはならないと考えるべきである。また、主要症状が回復した後も比較的長期間に渡って児の便などからウイルスが排泄されることがあるが、基本的には軽症疾患であることを踏まえ、回復した児に対して長期間の欠席を求めることは現実的ではない。

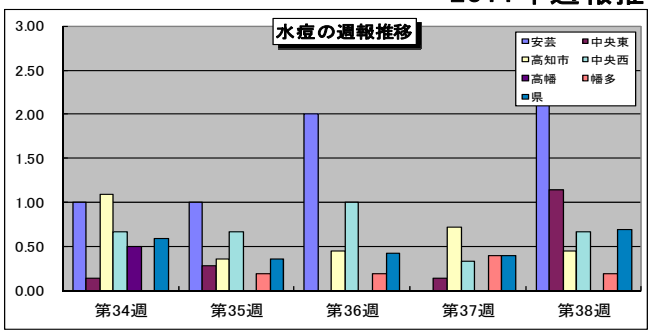
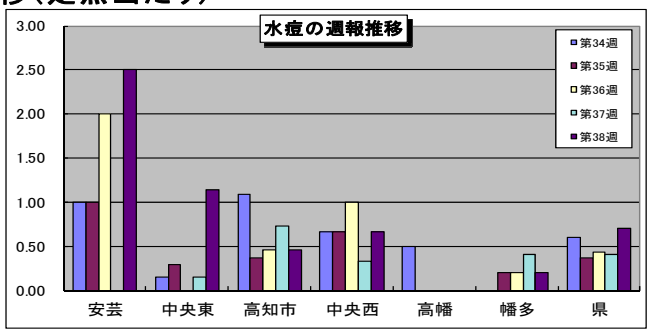
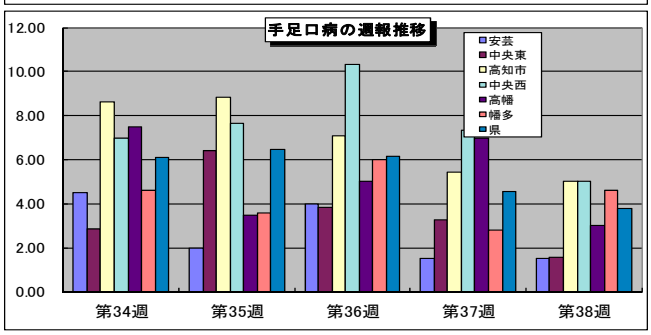
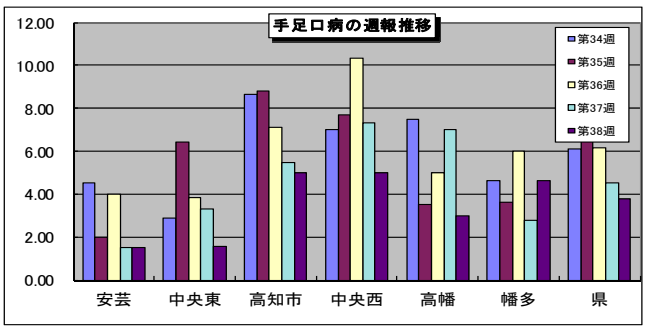
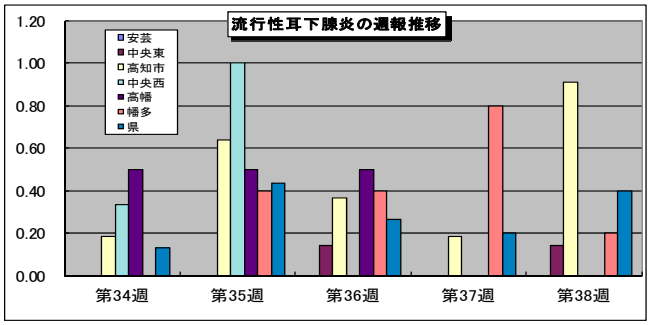
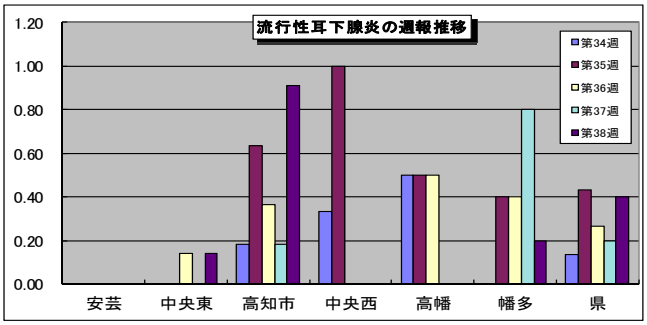
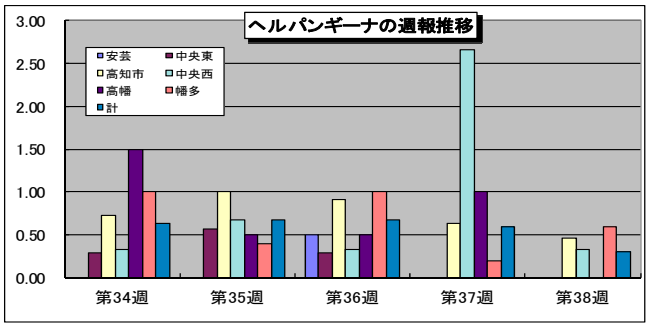
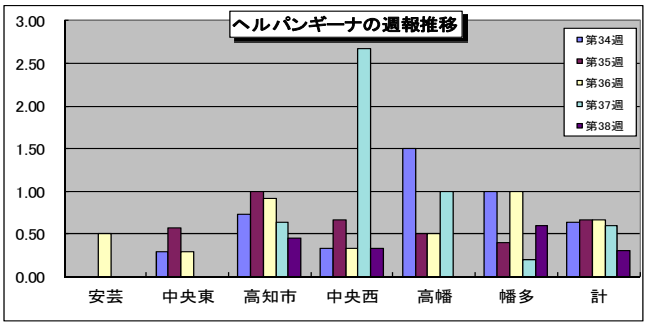
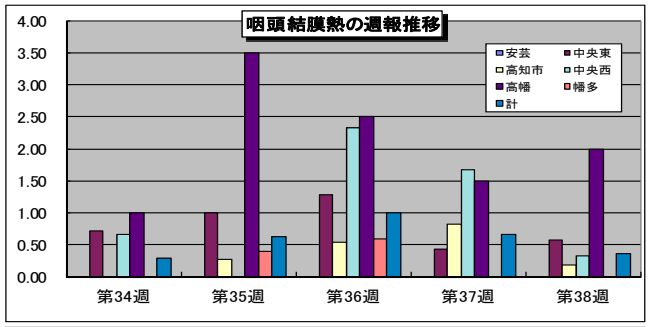
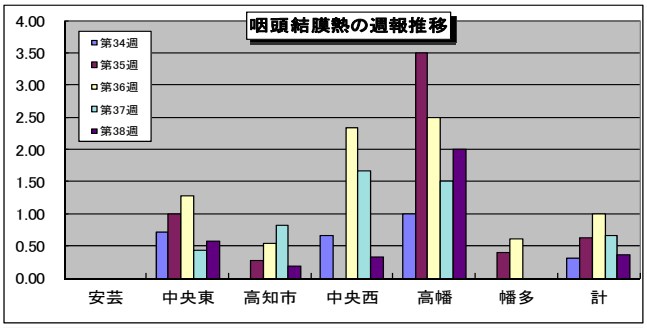
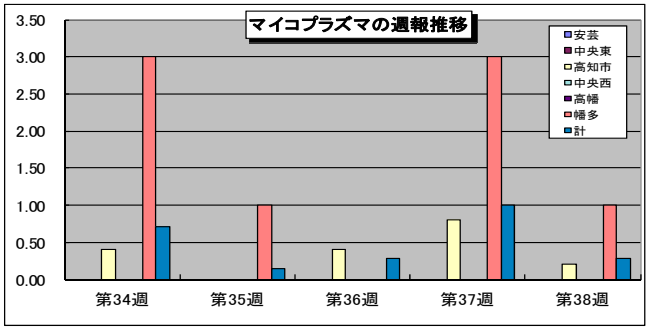
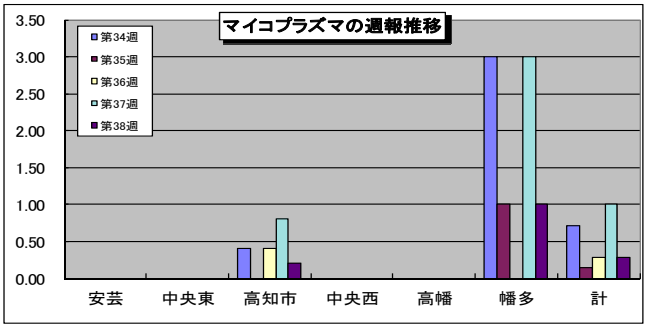
手足口病の病原ウイルスは主にコクサッキーA16（CA16）、エンテロウイルス71（EV71）であり、その他CA6、CA9やCA10などのエンテロウイルスによっても発症する。2011年の手足口病の流行で患者から最も多く検出されているのはコクサッキーA6（CA6）であり、検出報告988件（2011年9月15日現在）中、CA6が551件（55.8%）と半数以上を占めている。本年の手足口病の臨床的特徴としては、発症初期に高熱を発することが少なくなく、昨年までみられていた典型的な発症例と比べて発疹が大きく、四肢末端に限局せずに広範囲に認められる症例が目立つといった情報が寄せられている。また、CA6の感染によって発症した手足口病では、治癒してから数週間経過した後に、爪甲が爪床から浮き上がって剥離・脱落する症例（爪甲脱落症）が少なからず存在することが以前よりヨーロッパ等で指摘されており、本年の国内の手足口病発症例においても、治癒後の爪甲が剥離・脱落する例が認められつつある。

感染症発生動向調査では、全国約3,000カ所の小児科定点からの報告に基づいて手足口病をはじめとする各種小児科疾患の発生動向を分析している。2011年第36週の手足口病の定点当たり報告数は4.1（報告数12,974）と前週（定点当たり報告数4.4）よりも減少したが、依然として過去5年間の同時期の報告数を大きく上回った状態が継続している。都道府県別では秋田県（14.3）、青森県（10.9）、岩手県（10.8）、宮城県（10.6）、島根県（10.6）、山形県（9.2）、富山県（7.8）、長野県（6.2）の順となっている。第29週以降、手足口病の報告数は減少傾向にあるが、東北地方や北海道ではまだ増加傾向を示している地域が少なからず認められており、第27週以降は減少が続いていた島根県でも第33週以降再び急激な増加がみられている。2011年第1～36週の定点当たり累積報告数は89.0（累積報告数278,522）であり、年齢群別では0～1歳の報告割合が38.0%、2～3歳が34.9%と3歳までで全報告数の70%以上を占めている。

2011年の手足口病の流行は第28週にピークとなり、その後は減少傾向を示しているものの、まだこれまでの同時期と比較してかなり患者報告数が多い状態が続いており、増加傾向を示している地域も少なからず存在している。今後とも手足口病の発生動向には注意深い観察が必要であることに加えて、手足口病治癒後の爪甲脱落症の発生にも注意すべきである。

定点名	医療圏 / 疾病名	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前　週	全国(37週)	高知県(38週末累計) H23/1/3～H23/9/25
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ									91 (0.02)	12,336 (257.00)
小児科	咽頭結膜熱		4	2	1	4		11 (0.37)	20 (0.67)	816 (0.26)	307 (10.23)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2		4	2		1	9 (0.30)	13 (0.43)	2,232 (0.72)	1,785 (59.50)
	感染性胃腸炎	5	7	21	3		4	40 (1.33)	36 (1.20)	8,393 (2.69)	6,477 (215.90)
	水痘	5	8	5	2		1	21 (0.70)	12 (0.40)	1,447 (0.46)	1,440 (48.00)
	手足口病	3	11	55	15	6	23	113 (3.77)	136 (4.53)	11,208 (3.60)	2,877 (95.90)
	伝染性紅斑			4			3	7 (0.23)	12 (0.40)	903 (0.29)	340 (11.33)
	突発性発疹			6	1	3	3	13 (0.43)	17 (0.57)	1,978 (0.63)	549 (18.30)
	百日咳				1			1 (0.03)	1 (0.03)	97 (0.03)	21 (0.70)
	ヘルパンギーナ			5	1		3	9 (0.30)	18 (0.60)	5,042 (1.62)	860 (28.67)
	流行性耳下腺炎		1	10			1	12 (0.40)	6 (0.20)	2,160 (0.69)	286 (9.53)
	RSウイルス感染症		1	1	1			3 (0.10)	6 (0.20)	1,414 (0.45)	572 (19.07)
眼科	急性出血性結膜炎			1				1 (0.33)		91 (0.13)	1 (0.33)
	流行性角結膜炎								1 (0.33)	474 (0.70)	37 (12.33)
基幹	細菌性髄膜炎								1 (0.14)	16 (0.03)	4 (0.57)
	無菌性髄膜炎			1				1 (0.14)		43 (0.09)	19 (2.71)
	マイコプラズマ肺炎			3			1	4 (0.57)	7 (1.00)	397 (0.87)	91 (13.00)
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）									15 (0.03)	8 (1.14)
計（小児科定点当たり人数）		15 (7.50)	32 (4.57)	118 (10.27)	27 (9.00)	13 (6.50)	40 (7.80)	245 (7.97)			
前週（小児科定点当たり人数）		8 (4.00)	32 (4.57)	137 (11.91)	45 (15.00)	23 (11.50)	41 (7.60)		286 (9.23)	36,817	28,010 (774.13)

定点当たり　　第38週

定点名	医療圏 / 疾病名	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前　週	全国(37週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ									0.02
小児科	咽頭結膜熱		0.57	0.18	0.33	2.00		0.37	0.67	0.26
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00		0.36	0.67		0.20	0.30	0.43	0.72
	感染性胃腸炎	2.50	1.00	1.91	1.00		0.80	1.33	1.20	2.69
	水痘	2.50	1.14	0.45	0.67		0.20	0.70	0.40	0.46
	手足口病	1.50	1.57	5.00	5.00	3.00	4.60	3.77	4.53	3.60
	伝染性紅斑			0.36			0.60	0.23	0.40	0.29
	突発性発疹			0.55	0.33	1.50	0.60	0.43	0.57	0.63
	百日咳				0.33			0.03	0.03	0.03
	ヘルパンギーナ			0.45	0.33		0.60	0.30	0.60	1.62
	流行性耳下腺炎		0.14	0.91			0.20	0.40	0.20	0.69
	RSウイルス感染症		0.14	0.09	0.33			0.10	0.20	0.45
眼科	急性出血性結膜炎			1.00				0.33		0.13
	流行性角結膜炎								0.33	0.70
基幹	細菌性髄膜炎								0.14	0.03
	無菌性髄膜炎			0.20				0.14		0.09
	マイコプラズマ肺炎			0.60			1.00	0.57	1.00	
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）									0.03
計（小児科定点当たり人数）		7.50	4.57	10.27	9.00	6.50	7.80	7.97		
前週（小児科定点当たり人数）		4.00	4.57	11.91	15.00	11.50	7.60		9.23	

2011年週報推移（定点当たり）